

シェアサイクルとレンタサイクルの地域性に関する基礎的研究

日本大学 学生会員 ○李 驍騰
日本大学 正会員 ○大沢 昌玄

1. はじめに

交通分野においてシェアリングについて注目されている中で、特に進んでいるのが自転車である。環境負荷低減、移動便利性を高める上でも、シェアサイクルが世界的に拡大傾向にある。日本でもシェアサイクルは大都市を中心に拡大傾向にあるが、ある区域を境に、シェアサイクルポートがある場所で利用者がどこでも借り返却できるシェアサイクル（コミュニティサイクル）でなく、決まった場所での貸出・返却するレンタサイクルというようにモードが変わってきている。また、シェアサイクルの中にはポートのサービス密度が非常に低く、レンタサイクルレベルのものも存在する。シェアサイクルに関する研究は多数行われているが、実施事例に関するものが多く、さらにレンタサイクルは観光視点²⁾が多い。

2. 研究目的

関東地域（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県）をケーススタディとして、各自治体のシェアサイクルの導入実態について、ポート数や設置台数などから実態を把握しサービス密度を明らかにした上で地域性を解明する。併せて、レンタルサイクルを実施している自治体の状況を集め、シェアサイクルを実施している自治体の状況と比較しながら地域性を解明する。

3. 研究計画・方法

既存研究のレビューを網羅的に行った上で、関東各区及び市村町のホームページから、シェアサイクル事業の状況と対策を調べる。また、シェアサイクル事業の会社のアプリとホームページからサイクルポートの分布を調査する。そして、レンタルサイクル分布の調査を行い、シェアサイクルとレンタルサイクルの分布図を作成する。

4. 自治別のシェアとレンタルサイクルの実施状況

図-1に関東地域のシェアサイクルとレンタルサイクルの分布を示す。オレンジ色はシェアサイクルとレンタルサイクルの両者を実施している自治体である。青色はシェアサイクルのみで、黄色はレンタルサイクルのみである。東京都では、多くの自治体でシェアサイクルとレンタルサイクルの両者を導入している状況にある。一方、東京都以外では、郊外になるとレンタルサイクルを導入している自治体が確認でき、観光利用といったサイトにレンタルサイクルの情報が収録されていた。

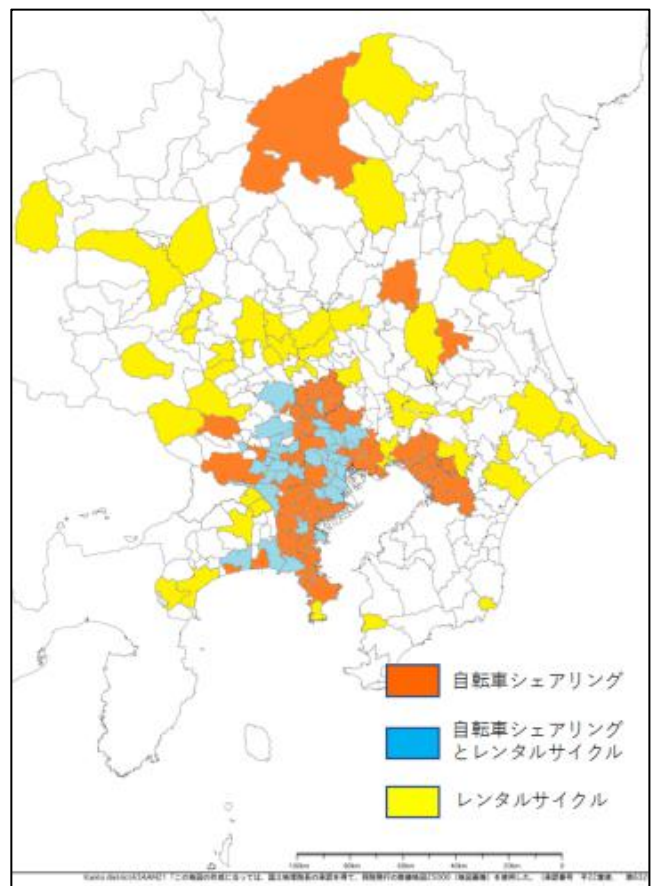


図-1 シェアサイクルとレンタルサイクルの実施状況

茨城県、栃木県、群馬県はシェアサイクルもレンタルサイクルも実施市町村が少なかった。

次に、シェアサイクルを実施している自治体のポート数を図-2に示す。東京都23区は100箇所を超える

キーワード シェアサイクル, レンタルサイクル, 地域性

連絡先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8 日本大学大学院理工学部研究科土木工学専攻

ポート数を有しており、郊外に向かうにつれポート数が減少になることが明らかになった。

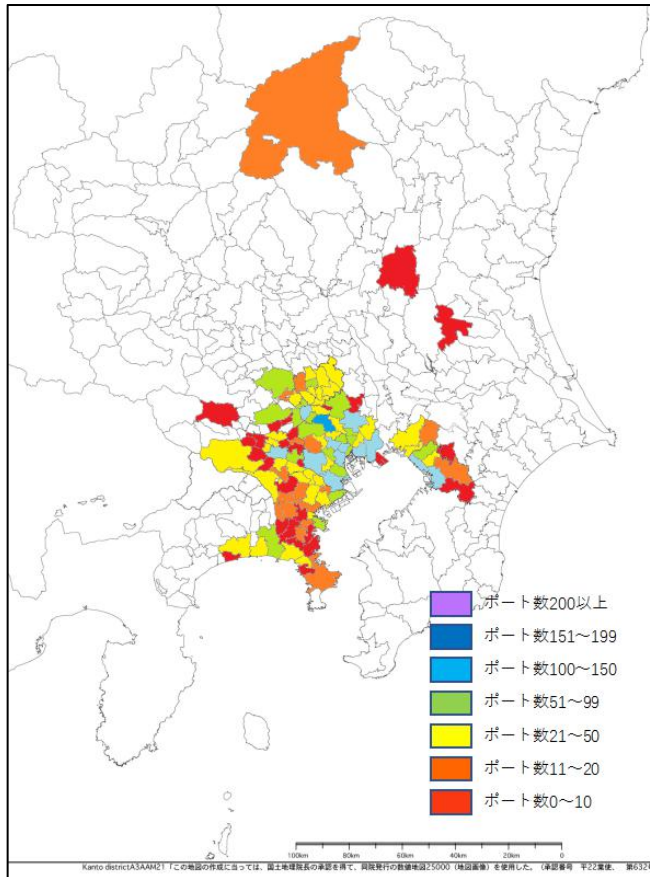


図-2 シェアサイクルのポート数

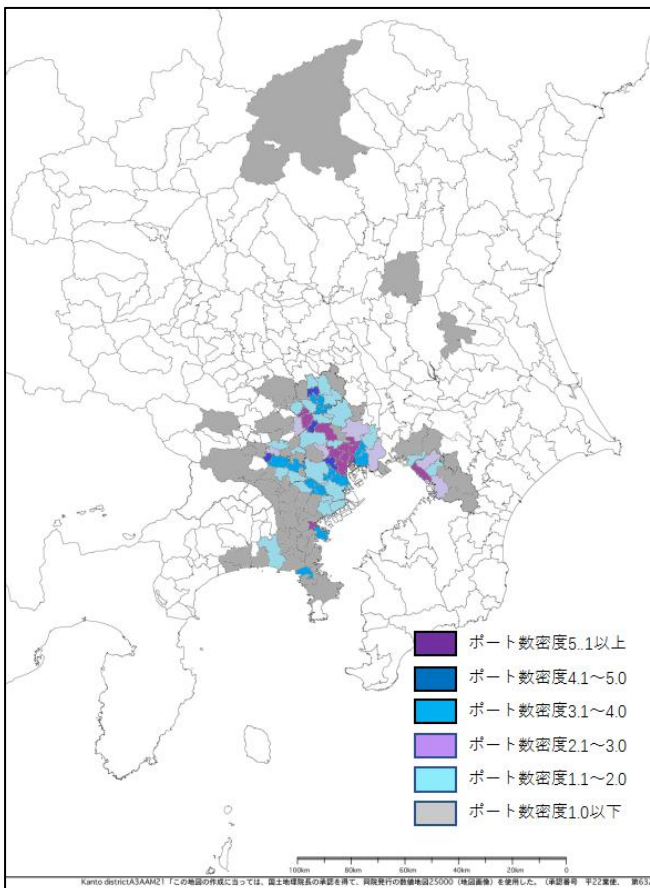


図-3 シェアサイクルポート密度 (箇所/100ha)

千葉県、神奈川県、埼玉県は同じく中心部のポート数が多いが、全体的東京都のポート数より少ない。茨城県と栃木県はシェアサイクル実施市町村が少なく、ポート数も非常に少ない状況にある。

最後に各自治体のシェアサイクルのポート数を市町村面積で割った密度(100ha当たりの設置箇所数)の状況を図-3に示す。都心5区は5箇所/100haを越えており高密度にシェアサイクルポートが設置され、身近な場所にシェアサイクルポートが存在していた。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県でも県庁所在都市中心部のシェアサイクルポート密度が高いが、それ以外では密度は低く100ha当たり1箇所以下となる。そのような設置密度では、身近な場所にシェアサイクルポートが存在していないとも考えられる。

5. まとめ

本研究では、シェアサイクルとレンタルサイクルを実施している自治体の把握及びシェアサイクルのポートの分布と密度を調査した。その結果、東京都、埼玉県、神奈川県は積極的にシェアサイクルを実施していた。都心部のポート数が多く、密度が高く、都心部から離れるにつれてポート数が減少、密度が低くなる傾向にある。一方郊外部では、シェアサイクルではなくレンタルサイクルを実施している自治体が多い状況にあることが分かった。

今回の実態把握を行う中で、社会実験としてシェアサイクルを実施していた自治体において、実験期間終了後シェアサイクルを導入していない自治体も見られた。そのため、今後シェアサイクルの導入を断念した自治体に対してアンケート調査等を実施してシェアサイクルが成立しなかった理由を明らかにすることを予定している。

補注

- 1) 例えば 橋本成仁・中島那枝, 「コミュニティサイクルの導入がまちの魅力に与える効果に関する研究」, 都市計画論文集, No.52-2, pp.188-197, 2017年 など
- 2) 例えば 鈴木繁・十代田朗・津々見崇, 「23区による公共レンタルサイクルへの施策と観光利用特性に関する基礎的研究」, 都市計画論文集, No.43-3, pp.613-618, 2008年 など
- 3) 図は「クノコ白地図イラスト https://technocco.jp/n_map/0130tokyo.html」を用いて作成
- 4) NAVITIME(2021/6/17) 閲覧 <https://www.navitime.co.jp/category/0708002/13120/?page=5>